

ダイズ栽培ほ場における生物多様性を評価する 指標生物の選抜

Selection of indicator organisms for biodiversity in soybean fields



カメムシタマゴトビコバチ成虫、
体長約1mm

マメノミドリヒメヨコバイ成虫、
体長約3mm

マメノミドリヒメヨコバイ成虫に寄生した
キマダラカマナシカマバチの幼虫 (矢印)

本研究は「農林水産省委託プロジェクト研究」で実施しています。

ダイズほ場を対象に、生物多様性を評価するための指標生物を選抜しました。

農薬に対する感受性が高く、無農薬や減農薬のダイズほ場で特異的に多く出現し、ダイズの害虫ではない昆虫を探索しました。その結果、カメムシタマゴトビコバチやマメノミドリヒメヨコバイおよび同種に寄生するキマダラカマナシカ

マバチなどを選抜しました。

持続的な農業の実現には、環境保全型農業を推進し、生物多様性を高めることが重要です。今回選抜した指標生物を用いて、ダイズほ場での生物多様性の度合いを科学的根拠に基づいて定量的に把握することが可能となります。

(環境基盤研究部)

